巻頭言

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中澤 宏一 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/0002002339

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

巻　頭　言

学校長　中澤 宏一

本校は，2019年４月に文部科学省WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業拠点校の指定を受け，昨年度末までの４年間，微力ではありますがコンソーシアム構築に尽力してまいりました。

Society5.0が訪れた中で，新たな社会を牽引する人材の育成が求められたことをふまえ，新しい時代に向けた学びの変革を実現するとともに，先取り履修をはじめとする高大接続改革にも取り組みました。

WWL事業では，高度かつ多様な内容を，生徒個人の興味・関心・特性等に応じて履修できる学習プログラム開発と実践を担うことが期待され，将来的には，すべての高校生がオンライン・オフラインで学び合うことを可能にする仕組みづくりを目指しました。４年間にわたり連携校や連携協力校の全面的なご協力を得て作ったコンソーシアムを今後も大切にするとともに，それを拡大し高校生の学びに広がりと深化を期待したいと思っています。

WWL指定を終えたタイミングで，本校はスクールミッションならびにスクールポリシーを定めました。特に身につけたい力として

① 情報を分析し，筋道を立てて考え，正しく判断する力

② 言葉を大切にし，言葉を磨き，対等に会話する力

③ 行動を起こし，広く社会に発信する力

を掲げ，これを支える柱として，「基礎的基本的な知識･技能を確実に身につけ，それらを基に探究的に学び，確かな学力の習得が実感できる授業」の実現に取り組み，新たな社会を牽引し，世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベーティブなグローバル人材の育成に力をいれています。今後も国内外の高等学校・大学・企業・国際機関等の協力を得ながら，新たな時代に向けた学びの変革を追求してまいります。

また，特定のテーマについて，探究的に学ぶ総合的な探究の時間の充実を目指しています。学年の枠をこえたゼミ形式での実践を始めており，少しずつではありますがその実践に手ごたえを感じています。WWL指定最終年度，連携校や連携協力校のご支援をいただき「第１回ミライシコウ金沢」（探究成果発表と国際会議）実施しました。今年度も参加校の枠を広げ，第２回（３月16日予定）を計画しております。多くの方々にご参加賜り，高校生の探究的な学びの充実やグローバル人材の育成につなげたいと考えています。

総合的な探究の時間に限らず，各教科・領域とも本校の研究はまだまだ稚拙です。今後も，皆様からの忌憚のないご意見を頂戴しながら研究を前に進める所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

最後になりますが，令和６年能登半島地震に際して多くの皆様からご心配，激励を賜りましたことに心から感謝を申し上げます。